

中村じゅんや 議員だより



連絡先（事務所）：〒410-1107 静岡県裾野市御宿1500 全矢崎労働組合裾野支部内

〈TEL〉055-997-1336

〈E-Mail〉 junya_shizunaka@office.tnc.ne.jp

〈FAX〉055-997-5745

〈URL〉 <http://www.junya-susono.club/>

令和の裾野市グランドデザインをどの様に描きますか？

新しい年をお迎えた途端、急に寒さが訪れてきたような気がしますが、ぜひともご自愛頂き健康な一年をお過ごしくださいませ。さて、年始には裾野市にとってビッグなニュースが地元企業の世界的発信により舞い込んで参りました。次世代の実証実験がトヨタ自動車さんによってこの裾野で具現化されるとのことです。ぜひエリア内だけではなく、その周辺はもちろんの事、広く裾野の地にその好影響がこぼれ、地域に生活する住民の暮らし満足度が向上されるよう、みんなで応援していきたいものです。併せてこの突発的なニュースに浮かれ、目の前に広がっている今の地域課題をよそに置くようなことが無い行政運営が必要です。行政対応レベルを上げ、スピードを加速させるよう訴えていきたいと思えます。

裾野市の最上位計画である第5次総合計画は令和2年に策定完了します。市の基本構想（グランドデザイン）が描かれる予定ですが、皆さんの想いがそこに反映されなければ全く意味をなしません。ぜひ機会がある毎に想いを口にしていきましょう！

12月議会から抜粋報告

■補正予算について

○台風19号の災害復旧費 1億6650万円

裾野市の台風被害で大きかったのは林道の土砂崩れと入田川護岸崩落でした。他市町に比べ被害は少なく災害に強いまちは健在。とはいえ学校のフェンスが倒れたり、公園の手すりが破損したりの被災はありました。事業の内1億1090万円は国の補助です。

○冊子版防災ハザードマップ 200万円

災害が全国的に多発していることを受け、国や県の主導で各戸配布のハザードマップが更新されます。併せて各地区の自主防災会向けに、より詳細な情報が確認できる冊子版のものを追加配布します。行政任せにせず、地域の命を地域で守るため、ぜひご活用ください。



○西中学校仮設教室実施設計 890万円

ご存知の通り西中学校は、北は石脇、南は富沢・伊豆島田地区が校区であり、生徒数が増加し教室不足が発生している学校です。少しでも落ちついた環境で勉強できる様仮設教室を中庭に増設予定です。校舎も老朽化しているため建替え予定されてもいますが、まだ10年以上先。だからってなぜ仮設？その場凌ぎではないかといった議論が多く出ました。まずは設計&土質調査を実施します。

■議案について

○スポーツ施設の運営事業者の変更

運動公園、陸上競技場、体育館、総合グランドなどスポーツ施設の運営は指定管理者制度で行われています。現在はシンコースポーツさん。5年毎事業者の公募が行われますが、来年度以降の選定が行われ、サカタのたねグリーンサービス共同体（5社）が運営することになります。薄層表土を推進する市環境緑花事業協同組合さんも共同体の1社です。



○特別職、市議会議員の期末手当増額は否決

公務員の給与は、民間企業の給与水準を参考に設定されています。民間の給与水準を調べ国家公務員を基準に毎年の水準増減を知らせるのが「人事院勧告」です。そして自治体の裕福度で地方公務員の給与にばらつきが出ないように算出されているのがラスパイラル指数。以前の裾野市はこの指数が同規模の自治体全国平均よりも高い状態でしたが、今は丁度中間レベルとなっています。人事院勧告で0.05ヶ月の引上げが通知されましたが、今の裾野市は、はいそうですかと上げられる状況でしょうか？行財政構造改革であらゆるサービスを見直し財源確保を優先しているのに。という判断がありました。結果【否決】

■議案について（続き）

○ヘルシーパーク利用料（使用料適正化）

たより第20号(6月議会報告)で記載しましたが、公共施設の使用料は、方針に則り見直中です。今回、指定管理者制度が導入されている温泉施設ヘルシーパークの利用料金が提示されました。今回も、その構成を掲載します。

風呂orプール	530円→700円（中学生以上）
---------	------------------

（負担比率 受益者7：3公費）

- 指定管理料 (81.1%)
- 市職員人件費 (2.8%)
- 光熱水費 (0.5%)
- 修繕費 (0.3%)
- 点検委託 (2.1%)
- 借地料等 (3.9%)



ほか

※使用料の適正化は借地のあり方や運用効率を捉える点と、使う人使わない人との公平性を保つために必要と思っておりますが、一押し！
市民と市民外の差別化が併せて必要です。
 議会では、減免制度、市民割引制度、子供や高齢者の割引について設定を急ぐよう要求しており、年度内に方向性が示される予定です。

○中小企業、小規模企業振興基本条例制定

2016年12月議会で提案した中小企業を応援する条例がやっと実現しました。相当の出遅れ感。。市内関係事業者や団体、市民の方多くで構成された委員会では、他市町の条例を参考にして提示された案を基に、本気で活気あふれるまちとなる様に議論されたようです。文中、市民に負担が掛りそうな表現や、市の努力が他市町より弱かったりする部分を修正した上で、制定となりました。



裾野は企業誘致に成功して以来、その法人税や固定資産税収により全国的にも裕福なまちとなりました。ただリーマンショックや大規模震災で経験の通り、社会情勢に大きく左右されるのも事実。しかし中小企業の税収は約5億円をそんな状況であっても平準化していました。つまり中小規模の事業者を増やすことは、安定水準を高めることにつながるのです。大企業の撤退等防ぐ一方で、同時に守るべきものがあるのです。時間がかかったなあ。しっかり先見性を持って迅速な判断で動いて欲しいところです。がんばれ！

1/15の臨時議会

○カソーラー設置に関する条例の制定

全国あちらこちらでカソーラー設置に伴う課題が湧き上がっています。自然環境を破壊するといった反対や、山の法面設地による土砂崩れ不安、使用後の廃棄処理不安など、様々です。こういった背景を受け、裾野市でカソーラー等設置する場合の手続きについて条例を制定しました。自然環境との調和も考慮したものとなっています。

【概要】

- 設置を抑制する地域を指定。
- 事業面積が2000㎡以上は市長同意が必要。
- 抑制地域の不同意内容を明記（面積1万㎡以上他）
- 地元住民の意思が確認できる書面の提出
- 廃棄処分に対する計画提出と確約書の提出
- 同意なしに設置した事業者の公表
→売電収入を得られない可能性あり

各種活動のご紹介

●会派行政視察

- サイクリストを活用した観光施策
- 木材を活用した廃棄物処理施設
- サテライトオフィスで活性化

民間のちょっとした動きをチャンスと捉え動いたまちを視察しました。



●多文化共生で、西中学校に協力
 西中学校生徒さんが将来の裾野では多文化共生が当たり前と考え、自分たちのまちの見え方を勉強したいと、矢崎を訪問。多国籍の方と情報交換して何を感じ取ってくれたのでしょうか？彼らの提言が楽しみです！



政策実現労組会議

●矢崎議員関係者の状況

私の前任者である土屋篤男さんが、市政功労を受賞しました。あつお！→

また、御殿場市議は平松ただしさんから、あくね真一さんにバトンを渡すべく活動中です！

←あくね

